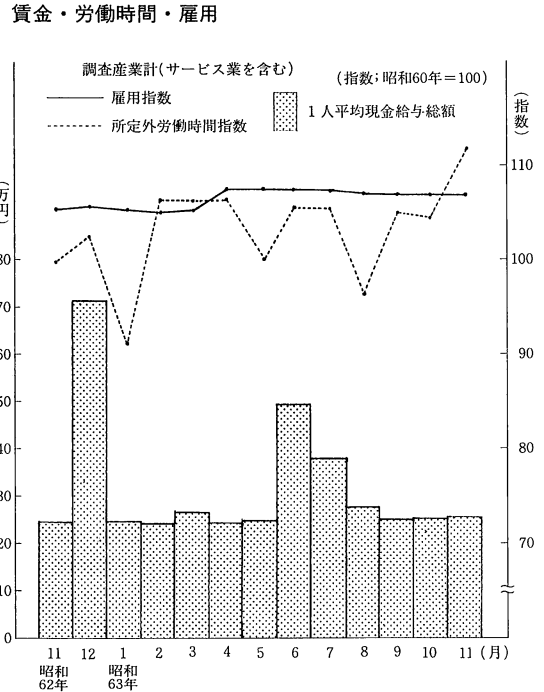
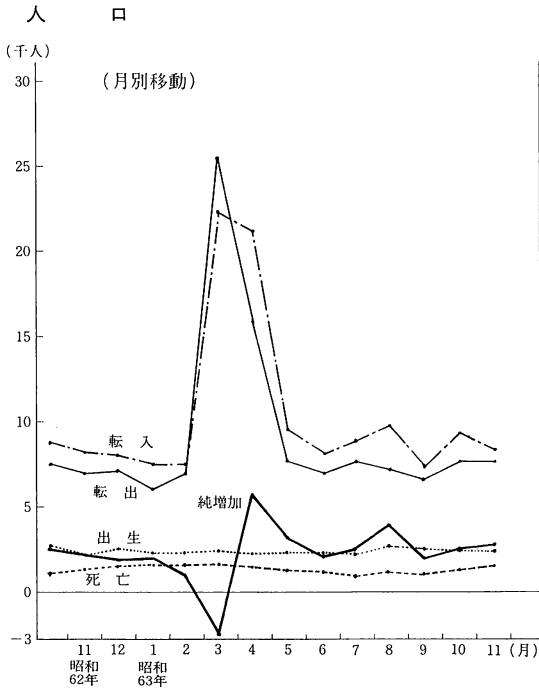
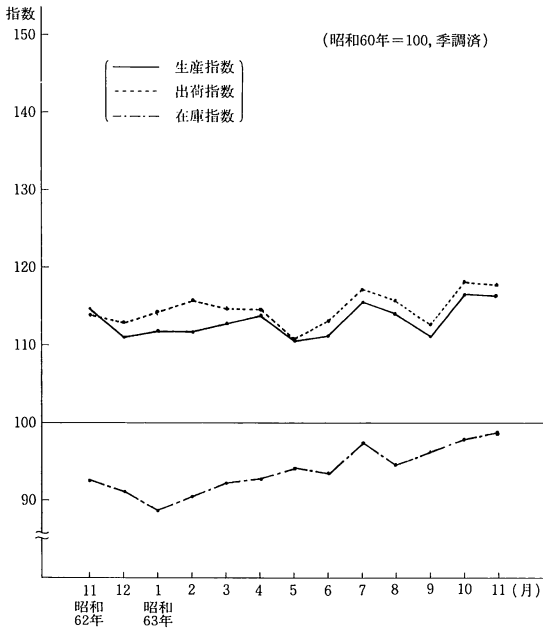


● 今月の主な動き

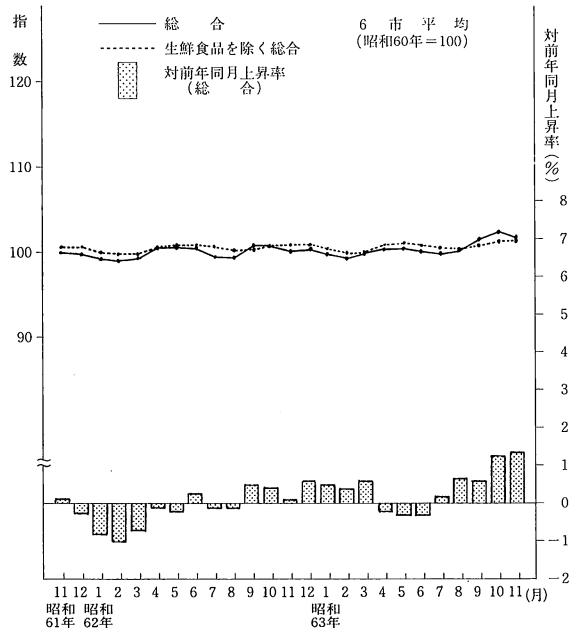
今月の主な動き



鉱工業指数 (生産・出荷・在庫)



消費者物価指数



主な動きのあらまし …………… 企画部統計課

■ 人 口 (12月1日)

本県の人口は、11月中に1,913人増加し、12月1日現在で2,802,482人(男1,396,577人,女1,405,905人)となった。

内訳は、自然動態で956人(出生2,558人,死亡1,602人),社会動態で957人(転入8,574人,転出7,617人),それぞれ増加した。昨年12月1日現在と比較すると、数で

27,631人,率で1.00%の増加である。

市町村別では、増加が14市42町村,減少が6市26町村である。

世帯数についても、671世帯増加して799,684世帯となった。

■ 賃金・労働時間・雇用 (11月)

1. 平均賃金の推移

11月の常用労働者1人1ヵ月平均現金給与総額は257,188円で前月に比べ1.7%増(前年同月比5.1%増)であった。

このうちきまって支給する給与は250,965円で前月に比べ0.9%増(前年同月比4.4%増)であり、特別に支払われた給与は6,223円で前年同月に比べ1,920円増であった。

2. 労働時間

総実労働時間数は182.4時間で、前月に比べ2.5%増(前年同月比0.3%減)であった。

このうち所定内労働時間数は162.5時間で、前月に比べ1.9%増(前年同月比1.8%減)であり、所定外労働時間数は19.9時間で、前月に比べ7.0%増(前年同月比12.0%増)であった。

3. 雇用の動き

雇用の動きを雇用指数(昭和60年=100)によってみると107.7で、増減率は前月に比べ0.4%増,前年同月に比べ2.0%増であった。

■ 鉱工業指数<生産・出荷・在庫> (11月分)

本県における昭和63年11月の“鉱工業指数。(昭和60年=100)は、季節調整指数で、生産が117.5,出荷が118.9,在庫が99.1で前月比は、生産が△0.2%の低下,出荷が△0.4%の低下,在庫が0.7%の上昇であった。前年同月比(原指数)は、生産が1.9%の上昇,出荷が3.8%の上昇,在庫が6.8%の上昇であった。

業種別に前月比をみると、生産では、輸送機械工業,鉱業,食料品・たばこ工業等が上昇し,精密機械工業,電気機械工業,鉄鋼業等が低下した。出荷では、食料品・たばこ工業,輸送機械工業,パルプ・紙・紙加工品工業等が上

昇し,精密機械工業,電気機械工業,金属製品工業等が低下した。在庫では、繊維工業,電気機械工業,非鉄金属工業等が上昇し,精密機械工業,食料品・たばこ工業,パルプ・紙・紙加工品工業等が低下した。

特殊分類別にみると、生産では、耐久消費財,建設財等が上昇し,鉱工業用生産財,その他用生産財等が低下した。出荷では、非耐久消費財,資本財等が上昇し,耐久消費財,建設財等が低下した。在庫では、耐久消費財,資本財等が上昇し,その他用生産財,非耐久消費財が低下した。

■ 消費者物価指数 (11月)

昭和63年11月の茨城県消費者物価指数は、総合で101.7(昭和60年=100)となり、前月比△0.6%の下落,前年同月比1.4%の上昇となった。

今月上がった主な項目……交通1.0%,飲料0.5%,調理食品0.4%,衣料0.4%

今月下がった主な項目……果物△20.7%,他の光熱△5.3%,野菜・海草△4.5%

生鮮食品を除く総合は101.4となり、前月と変わらず、前年同月比0.4%の上昇となった。

費目別指数

(昭和60年=100)

区 分	指数	上昇率(%)		区 分	指数	上昇率(%)	
		対前月	対前年同			対前月	対前年同
総 合	101.7	△0.6	1.4	保健医療	103.0	△0.1	0.0
食 料	101.3	△1.7	3.2	交通通信	100.1	0.2	△0.8
住 居	108.0	△0.4	2.0	教 育	113.2	0.0	2.8
光熱・水道	87.6	△0.3	△2.3	教養娯楽	102.3	0.0	1.4
家具・家事用品	98.7	△0.2	△0.5	諸 雑 費	103.1	0.0	0.2
被服及び履物	106.1	0.2	1.0	生鮮食品を除く総合	101.4	0.0	0.4